

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、持ち直している。生産活動は、物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるなか、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直している。
財務局名	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	<u>持ち直しつつある</u>	↶	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しつつある。観光は、持ち直しつつある。
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスがスマートフォン向けなどで弱含んでいるほか、生産用機械が海外の設備投資需要の落ち着きから弱含んでいるなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
関東	物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、百貨店販売額、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるなか、輸送機械、生産用機械、汎用機械などが減少しており、弱含んでいる。雇用情勢は、改善しつつある。
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。生産活動は、生産用機械が拡大しているものの、電子部品・デバイスが弱まっていることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
東海	<u>緩やかに回復している</u>	<u>緩やかに回復している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
近畿	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、人流の回復やインバウンドの増加により、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。
中国	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、外出機運の高まりやインバウンドの回復により持ち直している。生産活動は、半導体需要の鈍化や、自動車向けの需要回復の遅れなどから足踏みの状況にある。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。
四国	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、スーパーが底堅い状況のなか、百貨店が緩やかに持ち直しつつあるほか、観光も緩やかに回復しつつあることなどから、全体としては緩やかに持ち直している。生産活動は、化学が足踏みの状況にあるほか、電気機械、パルプ・紙が弱含んでいることなどから、全体としては弱含んでいる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
九州	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、宿泊などサービス消費を中心に持ち直している。生産活動は、半導体関連の需要に落ち着きが見られるなど、回復に向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、持ち直している。
福岡	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
沖縄	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、持ち直している。観光は、旅行需要喚起策の効果などから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

(注) ※ 5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。
 ※ 下線部が基調判断。